

第2回地域コミュニティ活性化委員会会議要録

日時：令和元年9月3日（火）18時55分～20時30分

会場：箕輪町役場 大会議室

参加者：地域コミュニティ活性化委員10人（全員出席）

事務局3人（企画振興課）

傍聴人数：2人

報道機関：1人

1 開 会 （毛利企画振興課長）

2 委員長あいさつ

3 協議事項

○有賀委員持参資料により説明

委員長、副委員長、委員から出た意見

○担い手不足について

平出：北小河内区でも課題。女性の参画という話もあるが、自発的にやる方向に持っていければ。過去の経歴を見ながら、民生委員、ヘルパー等の経験者に役員をお願い。やりたいという人はいない。役員、何故やりたくないのか、をやりたくないという気持ちを施策で転換できれば。

高橋：組の再編を行う。大出区、組併合した。組の再編を行い、5人しかいない所から1人選出するという形ではなく、1常会50人程度にして選出する形に出来れば。

林：下古田区。100戸程度の区なので、役をやらなければいけないという気持ちを持っており、そういった先人の姿を見てきている。大きい区だと他に回したくなるが、小さい区だと自分がやらねばと思う。

区の規模の変更は、難しいと思うが、常会なら可能では。

平出：北小河内区、30世帯位の区は、役員を何回もやっている人がおり、やらない人いない。小さい区は、様々な区を何回もやる。やりたい人はいない。来たからやる形。

小松：1常会30世帯位で均等に役が別れるなら、不公平感が無くなる。外から移住する人がその差で選択しなくなるのでは。常会を均等に出来るのであれば、有効だと思う。

林：人数少ないので、各種役をやらなければならない。皆、共通認識なので、頼まれたらしょうがないと思う。長期的視野で役を担っていく事が重要。すぐに解決には、ならない。

委員長：役員になる事のメリットのアピールを。自分の為になるという事のお得感をどう出すか。食わず嫌いな所があるので、きっかけ作りも大事。

浦野：防災訓練の活用を。防災訓練のような場を有効に使い、半強制的に住民に出てきてもらい、交流を持ってもらう。さかい常会、北と南から常会長を1人ずつ出すので、区の役員も北と南、交互に出るので、準備が出来る。

小林：役を5年先まで決めている。区会議員、3つの常会で平均化して役員を出している。そうすると役が来る準備が出来る。常会で人に来てもらうようにイベントもしている。老人、空き家多い常会、役員選出苦慮。新興住宅地は、若い人が率先して役員をやっている。

浦野：夜勤の人が多いという原因もある。夜勤だと出来ない。パソコンが使えない人もいる。

根橋：区長やるので会社辞めた。交代勤務。区会や会議は、夜や休日にやる。働きながら、休日に出来るように。

○女性の参画について、業務の見える化

小松：女性は、活動出来る時間に縛りがある。出来る、出来ないが出てきてしまうので、無理なく参加出来るような仕組みを。役員やる時にPTAの重複や子育て、介護じゃない人になるように配慮出来れば。

小林：日赤、安協の負担は軽くなったが、今も負担があるようだ。

小松：公共性の低下。自分さえ良ければ。仕事の棚卸しも必要。

高橋：法的根拠のある職を専門的に出来ないか。法的根拠のある職が地域の職とごっちゃになってしまっている。区会議員は、大出区の最高議決機関なのに、事務屋で兵隊と何でも屋状態。法的根拠のある職と区会議員を分かるべき。分館役員は、毎年変わるので、進化させたくても前例踏襲になってしまう。

小林：区会議員何でも屋になっている。区会議員がやるのではなく、専門的な視点でやってもらうこともあるのでは。区会議員が本来、何をするのが明確になれば、女性も手を上げやすいし、高齢者ばかりでも出来る。

根橋：3つの壁がある。専門性、継続性、公益性。専門性、民間出身じゃ分からない。継続性、1年～2年、長期にわたるものは、手が出せない。公益内、自区だけじゃ出来ない問題、町の職員のサポート体制、発言力のある係長をサポートつけて、課長が広域的に見る、消防団位の単位で。区同士の良い事例の紹介を出来る体制があれば。南小河内の区内、草刈り等。

○区費等について

浦野：区費本当に必要か。区の経費の見直し。区費から分館にお金入る。分館行事を整理して、お金がは減るはずだったが、区の方でそのままでもいいじゃないかと言われた。区費についても考える時。

春日：常会費について。子ども会で常会費の問題出た。

根橋：税金と常会費、区費の違いを明確に。

小林：常会に入らない人は、役や近所付き合いが嫌なのでは。南箕輪、常会に入らなくていいという触れ込みだったが、今、大変な事になっている。常会、区費、消防費は、協力費という認識を持ってほしい。

高橋：組には、入らず区費だけ払う人がいる。分館の運営の公平性、受益者負担を明確に出来れば、透明性が出る。

○区の運営、区が稼ぐ仕組み

高橋：3区合同にして、事務員を雇えるようにすれば。ふるさと納税等で区にお金を入れる仕組みも必要では。

唐澤：役員なんで受けたくない。

○全市共通システム、ゴミ出し、バス停

小松：全市共通のシステムの事例があるが、会計苦勞したので、町共通システムがあれば。

ビンの回収、役員立会必要で日にちや時間が決まっている。公民館への回収ボックスを設置したらどうか。また、高速のバス停が混んでいる。

根橋：ゴミ出しの問題は、町民ルールを徹底して、切りこんでいったらどうか。町の負担も減るのでは。